



市内のイベントを随時発信!

十和田市ブログ駒の里

検索

5/17 腹式呼吸で精神集中! スポーツ吹矢体験教室

市民文化センターで、少年少女トキメキ講座「スポーツ吹矢体験教室」が開催されました。

市内小学生11人が参加し、(一社)日本スポーツ吹矢協会公認指導員の寺下良次さんから、基本の腹式呼吸を使い、呼吸を整え、構えて、的を狙うという一連の動作を学びました。参加者は指導員の下、吹矢を練習すると短時間で上達。最後は、チーム戦を行い、みんなでスポーツ吹矢を楽しみました。



集中力を高めて的を狙います。吹矢を吹く姿も様になっています。

4/23~5/12 いつもいっしょ、本といっしょ「こどもの読書週間」 子ども図書館に大型絵本を展示

市民図書館では、「こどもの読書週間」の期間中、子どもたちにより本に興味をもってもらうことを目的に所蔵する大型絵本の特別展示を行いました。

お母さんと訪れた工藤竜聖くん(ほなみ保育園)は「大きな絵本は見ていて楽しいです。僕は恐竜の絵本が大好きです」と、笑顔を見せていました。

期間中、子ども図書館では大きな絵本をいっぱい広げ、夢になって読む子どもたちの姿が見られました。



自分の体ほどもある大きな絵本。迫力ある絵本に子どもたちは大興奮



手伝った田植えが終了し、笑顔でピースサイン

5/16~18 十和田の文化や農業に触れる タイの学生が農家生活を体験

タイ王国の泰日工業大学の学生20人が、2泊3日の日程で当市を訪れ、市内農家に宿泊しながら田植えや長イモの植え付けを体験しました。

赤崎タイ子さん(奥瀬地区)の田んぼではウィさんら4人の学生が田植え機に育苗箱を運ぶ作業などを体験。「田植えを初めて体験して、とても楽しい。十和田は自然に溢れていて、きれいな所ですね。また来たいです」と、笑顔で話しました。

4/29 色とりどりの草花を個性豊かにコーディネート ハンギングリース教室

駒っこランドで、英国王立園芸協会日本支部認定ハンギングバスケットマスターの山崎俊幸さんを講師に迎え、「春を彩るハンギングリース教室」が開催されました。

市内外から14人が参加し、山崎さんから土作りや花の配置などの指導を受けながら忘れな草やアリッサムなど6種類の草花を思い思いに並べていきました。参加者らは完成した作品の出来栄に満足気な表情を浮かべていました。



リースに花を並べる参加者。季節に合わせてハンギングリースを作りたいと意欲を見せていました。

4/24 祝結婚・赤ちゃん誕生記念 十和田杉のフォトフレームを贈呈

市制施行10周年記念事業の一つ、「結婚・赤ちゃん誕生記念事業」として、婚姻届を提出した高谷史人さん・香織さんご夫妻に「十和田杉」を使ったフォトフレームが贈呈されました。

フォトフレームを手にしたお二人は「杉のいい香りがしますね。いい写真を飾れるようにこれからの結婚生活を歩んでいきたいです」と、話しました。

同事業は平成27年3月31日まで行われます。



西村副市長からフォトフレームを手渡される高谷さんご夫妻。ご結婚おめでとうございます。



4月19日のオープニングセレモニーには作品を展示している作家の皆さんも参加しました

4/19 人同士がゆるやかにつながり始める 「そらいろユートピア」開催中

現在、市現代美術館では企画展「そらいろユートピア」が開催されています。同展は、東日本大震災で生まれた見知らぬ人同士のつながりにもう一度向き合う試みとなっており、常設展示作品も手掛けているフェデリコ・エレロさんら6人の作家の作品やcafe de Monk(カフェ・デ・モンク)の活動を紹介した写真などが展示されています。

会期中(9月23日(火)まで)は、さまざまな関連イベントを予定しています。

Pick Up

先人たちの功績に思いをはせる 稲生川上水記念、「太素祭」開催

5月3日から5日にかけて、太素塚で、「太素祭」が開催されました。境内では、北園小学校・十和田中学校・三本木高校の各吹奏楽部や十和田水神雷太鼓の演奏など、各種ステージイベントが行われました。

3日には、祭りの一環として、先人たちの偉業をたどりながら市内を歩く「太素ウォーク2014」が行われ、県内外から131人が参加しました。参加者らは、法量農村公園の稲生川取水口を出発、Aコース(19km)、Bコース(14km)、Cコース(6km)に分かれ、家族や友人らと思いのペースでゴールの太素塚を目指しました。

Bコースに参加し、約3時間歩いて完歩した常田かの子さん(南小・4年)と大久保拓海くん(同・3年)は「足がパンパンで疲れました。取水口や民家にあった古い井戸など初めて見るものがたくさんありました。来年も参加したいです」と、笑顔を見せていました。

稲生川の上水に成功した記念日に当たる4日には、開拓の祖、新渡戸傳・十次郎・七郎の親子三代をたてる式典が太素塚で行われ、稲生大権現が奉納されたほか、小山田市長など約70人の参列者が献花を行い、先人の功績に思いをはせていました。



曲の演奏だけでなく、部員たち自らが演技を行い、会場を盛り上げた三本木高校吹奏楽部の皆さん



天候にも恵まれた「太素ウォーク2014」。澄み切った青空の下、人工河川「稲生川」の史跡をたどりました。